

2014年1月7日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報

短時間誘拐に注意

昨年末、エクアドルのグアヤキルで新婚旅行中の日本人観光客がタクシーで移動中に襲撃された事件は、同地で多発している「特急誘拐」と呼ばれる手口と見られており、同地では、流しのタクシーに対する襲撃が多発しているとのことです。

本件では、被害者が犯人にクレジットカードの暗証番号を聞かれて返答しなかったために犯人の怒りを買って銃撃された可能性が高いと報道されています。

当地でもsequestro relampago(電撃誘拐)と呼ばれる短時間誘拐がしばしば発生しており、2013年上半期中にリオ州で53件(うちリオ市30件)発生しています。なお、同期間の身代金目的誘拐はリオ州で3件(うちリオ市1件)です。

「電撃誘拐」は基本的にエクアドルの「特急誘拐」と同一で、車で移動中の被害者の車内に乗り込んで車ごと誘拐して、クレジットカードやキャッシュカードで買い物やキャッシングをさせて金品を強奪する手口です。

当地ではタクシーの被害は目立っておらず、むしろ、高級車や華美な服装・所持品の人物が狙われる傾向にあります。特に、空港に到着する際には質素な服装を心がけてください。

万一誘拐されてしまった場合は不用意に抵抗せず、犯人の要求に従うようにして身体の安全を優先してください。